

今年も環境市民懇談会の全体会が開催されました

2月19日たづくりみんなの広場にて4年目にあたる環境市民懇談会の今年度の成果をまとめた展示発表会が開催されました。あいにくの雨ということもあり、来場者は例年より少なかったようですが、年々展示の質が向上し、各プロジェクト共カラー写真をふんだんに使い、見やすい展示になったと思います。また体験コーナーも中央に丸太切り・縄ない(ワラ・シュロ)の場を設け楽しく遊ぶことができました。展示物は1週間掲示されましたので、後日立ち寄った方達にも見ていただけたと思います。



竹笛, よく鳴るよ



寒いなあ, 雨の中のガイドウォーク

来年度の運営委員も承認され、今後も活動を広めるための会合の持ち方・PRの方法等、引き続き話し合っていく予定です。

調布の自然 生き物編 その12

市内で見られる冬鳥

年が明けて冬らしい日が続き鳥たちも麓に下りてきて、冬鳥の姿が多く見られるようになりました。前回「ツグミ」さんどこにいる?と書きましたが、寒くなったらしっかり目につきだしてきました。でも大型ツグミの仲間である「シロハラ、アカハラ、トラツグミ」は以前より確実に目にする機会が減ってきたようです。代わりに小型ツグミの仲間である「よくお辞儀をする礼儀正しさが身上で腰の白い紋付姿のジョウビタキは庭や農地で見られる。は背中が瑠璃色、はウグイス色の中にルリ色のクリッとした目が可愛いルリビタキは林縁に多い」が相手をしてくれます。

この時期調布の水辺で見られる冬鳥をいくつか紹介します。双眼鏡を手に観察してみてください。あなたの好きな鳥はいますか?

多摩川の河原では 尾を上下に、歩きながら餌をついばむタヒバリ(セキレイの仲間) チチッ、チチッ、と地鳴きするホオジロやその仲間のカシラダカ(後頭部に冠羽が立っている) アオジ(胸から下腹にかけて黄色が目立ち縦班がある)そして 木の梢には猛禽類のチョウゲンボウやオオタカ・ノスリ・スピード王の隼が睨みをきかせております。上空にはあれっ、腰の白い姫アマツバメの乱舞も見えます。来年、3年後、どうなっているでしょう。(里)

追記: 染地2丁目の草原で赤い鳥が4羽 ~ベニスズメでした~



ジョウビタキ



ルリビタキ

入間・樹林の会



2月20日(日) 朝からの雨が少し小降りになったので、西側樹林地の笹刈りを予定通り行いました。当初1時間の予定でしたが、雨もやんだので、区切りのあるところまでしました。久しぶりのせい、11人の参加者は和気あいあいと作業をしました。アオキ・シロダモ・シュロは伐採することとしましたが、作業後、みんなで驚いたのは、シロダモを刈ると、そこに台地があったこと、そして、東側樹林地まで見渡すことができたことです。斜面を見下ろし、全体の見通しと眺めがよいので、思わず、歓声もあがりました。12月末の降雪のあと見に行くと西側からは、樹木の間に見え、富士山を望むことができたので、きっと、よい「富士見台」になりそうです。ツリーハウスやログハウスの夢もひろがりました。マンリョウやムラサキシキブなどの植物も生えていてこれからが楽しみです。

午後の雑木林塾の講師でもあった、峰岸さんが活動を見ていて、いくつか気づいた点をあげてもらいました。安全管理について、作業前後のストレッチ、鎌の使いかた、寒い日や雨天の作業についての注意や笹刈りなどの伐採を斜面の下から作業をする手順など、今後に生かしていきたいことです。また、伐採前の何が何本生えているかの調査、入り口の構えの造作や食べる楽しみなど今後の樹林の将来像を描く参考になりました。(安部)

雑木林塾 第5回講座

2月20日(日)1:00~3:30 雨
市役所第4会議室 参加12名(職員含む)
講師 峰岸久雄さん(多摩の自然と町づくりの会・第12回全国雑木林会議事務局長)
・樹林保全管理活動について発想を広げる
・樹林保全管理活動で大切にすべきことは

始めに桜ヶ丘公園ボランティアの方が描いた雑木林の万華鏡的世界というイラストを見ながら、「活用の結果としての管理」という言葉をお聴きし、現代における管理のキーワードかもしれないと思いました。その後はしくみとルール作りや市民参加から市民主体で活動するための財源のお話や管理・活用のためのプログラム、そして長く活動をつづけていくために大切な合意形成など、チェックリストもいただきながら具体的なお話を伺いました。

後半の質疑応答ではどこのグループでも悩みの種である樹林地手入後の伐採樹木や笹の始末についての話題が出、ゴミ処理やエネルギー問題へと話が発展しました。絶対的な解



策は無いようですが色々なところで行われている活動を参考に、それぞれが工夫してやっていくことが良いようです。(K)

こどもエコクラブ

今年度最後のこどもエコクラブ活動。本日の参加は7組16人。折からのインフルエンザの流行で、当日4組9人が残念ながら欠席になってしまいました。

活動の始めは全員で枝や枯れた木を集めます。点火の儀式はサポーターの中原さん手造りの「古代火おこし器」を使った火種づくり、しかし煙は出るものの着火せず、残念ながらライターによる点火となりました。

各自で持ち寄った金属製の空き缶や茶筒に松ぼっくり、どんぐり、寒椿の花など、好きな材料を入れ針金でしっかりと結び、高熱ガスでふたが飛ばされないようにしてから焚き火に投入。まもなくすると缶に開けた穴から、ガスが噴出し青い火が高い音を響かせます。「このガスが機関車やバスなど昔の乗り物のエネルギーとして利用された」との解説が小池講師からありました。午後はお待ちかねの炭のチェック。缶の中からは松ぼっくりなど複雑な原型をそのまま残した炭が、寒椿の花は炭化した一部分が青い光沢を放すなど、いずれも見事な出来栄にみんなも大満足。その他、やきいも・ブンブン・竹笛など盛り沢山の日でした。



環境モニター

2/5 (土) 曇り

AM 多摩川二ヶ領上河原堰植物調査

参加者 5名(多摩川センター及び職員含)

コセンダンソウ・セイタカアワダチソウ・ヨモギ・オギなどがすっかり枯れて淋しい河原ですがノリ面にはなんだかわからないイネ科の植物が青々としています。真冬にこんなに元気なのは殆ど帰化植物だということですが、モニターのメンバーには、穂が出てこないとさっぱりわかりません。かろうじてわかるロゼットを含め20点ほどの植物を観察しました。

また里さんが立派な双眼鏡持参して下さったので、カンムリカイツブリ・モズ・ノスリ・カワラヒワ・シジュウカラ・ヒドリガモ・アオジ(又はオオジュリン?)などの観察もできました。冬は見通しが良く鳥の観察には最適な季節。タカの仲間であるノスリも初めて見る事ができました。次回の調査日には忘れずに双眼鏡も持参しようと思いました。

(鍛冶)

コマツヨイグサのロゼットはこんな不思議な形に



真冬でも春気分? のオオイヌノフグリ



どんぐり林に来て見れば

2/6 富士見町どんぐり林公園で落ち葉溜めの入れ替え作業があるということで久々に出かけてみた。

行ってみると落ち葉溜め中の葉はカラカラに乾燥している。前回の作業から1年位たっているということだったが、堆肥には程遠い状態。とりあえず長いホースで水を撒きながら踏み固め、その上に公園内の落ち葉を集めて更に積み上げた。「こんなに入るかしら」と危ぶまれるほどの量だったが、どうやら落ち葉溜めに入りきった。最後に地区協の方達が用意したカードを子供達が落ち葉の中から探し出し、景品のお菓子を引当て楽しく終了となった。4年前シイタケのコマ打ちをした物の収穫ができたとのこととおみやげに1つ干しシイタケをいただいた。今後は堆肥を作るために1年を通して計画的な作業が必要ということで、中原さんがなんらかの手を打ってくださることに・・・。(K)



リレーエッセイ

(保全課職員担当)

私の住んでいる場所は、多摩川の近くです。昨年8月子供の夏休みの自由研究で何をやるかと考えてたところ、多摩川について調べてみようということになり多摩川の上流・下流にと2日間かけて実際に行ってきました。

1日目は「源流に行こう」となり、どこなんだろうと調べたところ山梨県と埼玉県境の笠取山だとわかりました。ちょっと遠いので、奥多摩湖・小河内ダムまでになり3時間程かけて色々な所に寄りながら、水の透明度を調べるため水を採取したり、写真をとったりして現地に到着したところ(無料駐車場あり)、知っている方もいるかと思いますが、東京都の「水と緑のふれあい館」というのがあり、建物の中は円形の吹き抜けで周りにゆったりと上がっていくスロープになっています。奥多摩町の歴史文化・ダムと自然・3Dシアター等々あり、子供にとっては楽しく学べる場所ではないかと思えます。ちなみに、休館日は水曜日だそうです。帰りには、日帰り温泉もあり楽しい1日を過ごすことができました。

2日目は、下流の川崎方面に向かい羽田近くまで行き同じように水の採取や写真を撮ったりして帰ってきました。

久々に子供といっしょに、自然と触れ合いながら楽しい時間を過ごすことができました。

(島崎)

イベント情報

人と自然との関係を考える

～ 私たちの生活と生態系～

人と自然との新しい付き合い方を、新しい文化・文明のあり方を、「生態学(エコロジー)」をとおして考えてみましょう

講師：三島次郎氏

(桜美林大学名誉教授 理学博士)

日時：3月17日(木)14:00～(開場は13:30)

会場：調布市文化会館たづくり12階大会議場

定員：150人(当日先着順) 入場無料

環境モニター

日時：3月5日(土)10:00～15:00

場所：市民プール南土手ベンチ付近

内容：午前は植物調査・

午後は染地地域福祉センターで勉強会

持ち物：ルーペ、カメラ、図鑑等

雑木林塾第6回講座

日時：3月19日(土) 10:00～12:00

場所：市役所

内容：これからの人と雑木林のつきあいかた

持ち物：筆記用具

雑木林塾自主講座

日時：3月19日(土)12:30～

場所：市役所前集合

内容：みつ池見学(世田谷区)

人間・樹林の会

日時：3月20日(日)9:30～12:30

場所：入間地域福祉センター第3会議室

内容：伐採枝の処理、新年度の作業日程

持ち物：作業用服装

【編集後記】

みなさま全体会お疲れさまでした。色々反省点もあるかと思いますが、個人的にはすごく楽しめました。でも、全体会が開催されたということは、今年度ももう終わりが近づいているということですね。なんだかあっというまの一年でした。(佐々木)

深大寺 節分会

2月3日深大寺で節分会が行われました。11時前ごろから太鼓ばやし境内いっばいに鳴り渡りやがて大僧正のお成りとなり、大師堂で護摩がたかれ読経が始まり、本堂の前では太鼓の御囃子に合わせて鬼が退治されやがて豆まきが始まりました。(S)



2月の梅

節分にはすっかり満開になっていた布田天神の梅(寒紅梅)の花。寒い日が続いているせいか市内のあちこちでまだまだ楽しめそうですね。



< 会議のスケジュール >

日時	場所	活動名/内容
3月3日(木) 18:30～20:30	たづくり3階 303会議室	環境市民懇談会 運営会議
3月24日(木) 18:30～20:30	市役所6階 男子休憩室	環境市民懇談会 連絡会
3月28日(月) 13:30～16:00	市役所3階 環境部会議室	調布自然だより 編集・次号企画

ちょうふ環境市民懇談会は、調布の自然環境を保全・改善・回復していくために、「話し合いの場や、活動の交流・支援、人材育成、啓発活動、情報の収集や発信」といった活動をパートナーシップをもとに進めていくことを目的に設立されました。ぜひ、様々な環境保全活動へ参加してください。

お問合せ先：調布市環境部環境保全課

TEL：0424-81-7086

E-mail：kankyou@w2.city.chofu.tokyo.jp

発行：ちょうふ環境市民懇談会